



祝 御卒業

世界的にいまだ終息が見通せない新型コロナウイルス感染。命と健康を守るため、3月1日から全国ほとんどの小中高、特別支援学校の休校措置が実施されました。3年生にとって、進路決定の山場であり、中学校生活・義務教育残り2週間という密度の濃い日々の休校。「なんで自分たちの卒業の年に・・・」そう嘆きたくもなる状況でした。

「予測困難な時代を迎える」という言葉。今、国内外で起きている事態もまさにその時代の大きなエピソードに思えます。人命、環境、経済、モラル、人権、政治などに、平時では見えなかった課題、脆弱さ、ひずみなどがさらされ始めています。一方で、それらの課題と向き合い、懸命に力を尽くす人たちの存在も一部ですが伝えられています。様々な情報が発生し変化中、私たち一人一人が自身の「人間力」について問う時かもしれません。

この状況の中、哲多中学校の卒業を迎える27人。これまでの卒業生以上に、自分と社会・世界との密接なつながり、困難な中における、人としての在り方について考え、義務教育の外へと旅立つことと思います。

来賓、在校生不在の異例の卒業式。寂しさはぬぐえませんが、あの少し小さな会場で、みなさんの門出の晴れ姿を一秒でも長く見つめ、記憶にとどめたいと思います。これまでの頑張りを讃え、未来の幸せを心から願う保護者の温かなまなざしに包まれていました。

「予測困難」な状況が待ち受ける未来ですが、みなさんがこの哲多の地で培ったことを「人間力」の土台とし、平和の担い手となり、生きがいをもって活躍することを祈っています。職員一同、在校生一同みなさんの門出を祝福し、未来にエールを送ります。令和元年度卒業生のみなさん卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、おめでとうございます。
これまで本当にありがとうございました。



多目的教室が卒業式場に



カウントダウン日めくり
最後の一枚



受験期にちょっと一息 後期お楽しみ会

2月7日(金)、学級委員会主催のお楽しみ会を行いました。年2回の開催で前期は7月に実施。今回は11月に改選された後期学級員が主催者となって企画運営をしました。

今回はフラバールバレーボール。学年支会などでも経験し、あのおにぎりのようなボールの妙なバウンドやワンバウンドルールなどにも慣れた様子で、ネットを挟んで白熱のラリーが展開されました。全校縦割りで編成された各チーム、珍プレー好プレーの連続で大いに盛り上がり、「学年の枠を超えて生徒相互の親睦を図る」目的が達成できたと思います。9チーム総当たりの試合の結果見事優勝を果たしたチーム(8人)には、学級員会作成の立派な賞状が贈られるとともに、全校の前で「校歌熱唱」の権利までプレゼントされました。突然のプレゼントにちょっと慌てたものの、さすが陽気な3年生。後輩をリードし、肩を組んで高らかに校歌を歌いあげました。盛大な拍手にプレゼントの意義を実感したことでしよう。学級委員の皆さん、粋な企画を加えてくれてありがとうございました。



地域イベントデビューに向けて 2年生銭太鼓練習



2年生の銭太鼓練習が始まりました。2月10日(月)、1月に自作したマイ銭太鼓を手に集合した2年生18人が、特別非常勤講師の小川茂子先生、羽場美恵先生をお迎えし、来る公民館まつりでの披露に向けた初練習に臨みました。初日の2時間、基本動作から始めた練習も、お二人の先生方の丁寧な指導により、最後は伴奏に乗ってなんとか通しでできるレベルまでに。「呑み込みが速い」と褒められた18人。正座での練習はけっこう大変ですが、観ている人に喜んでもらえる演技の陰にある苦労を経験しながら頑張ります。小川先生、羽場先生お世話になります。(公民館まつりは中止になりました。6月のすずらん祭りで!)

※休校に伴う学習範囲の未履修が心配されることと思います。3年生については、全範囲履修を済ませ、卒業を迎えております。進学先での学力発揮を期待します。